

大牟田市：「ワンヘルス推進」を宣言 !!

令和5年1月29日（日）、「安全・安心で魅力あるまちづくりへ」を目指されている福岡県大牟田市で、市民の皆さんにワンヘルスの理解を深めていただくための大牟田市「ワンヘルス」啓発イベントが開催されました。



関好孝大牟田市長



左藤秀樹ワンヘルス総合推進室長

関好孝大牟田市長の主催者挨拶で開会となり、福岡県ワンヘルス総合推進室の左藤秀樹室長から、全国で初めて「福岡県ワンヘルス推進基本条例」を制定した「福岡県のワンヘルスの取組み」が紹介されました。

その後、大牟田中央小学校6年生児童による、大牟田市動物園と連携して取り組んできた「動物福祉に関する学習、研究」が発表されました。

また、大牟田市動物園の「大牟田市動物園の取組み」や大牟田市の「災害時におけるペット同伴避難の取組み」なども紹介されました。

福岡県内市町村への広がり

令和3年度以降、県内の市町村議会、市町村において、ワンヘルスの取組が拡大

市町村議会でワンヘルスの推進に関する決議が可決

決議内容(抜粋)

- ・ 県行動計画策定に連携協力すること。
- ・ 住民へのワンヘルス周知に努め、理解の促進を図り、その実践活動に対し、必要な支援を行うこと。等

市町村議会

・ 筑後市	・ みやま市	・ 直方市	・ 那珂川市
・ 北九州市	・ 宗像市	・ 福岡市	・ 宮若市
・ 太宰府市	・ 宇美町		

市町村においてワンヘルス推進宣言を表明

宣言内容(抜粋)

- ・ 県行動計画に連携協力するとともに、ワンヘルス実践施策を積極的に推進する。
- ・ 住民へのワンヘルス周知に努め、理解の促進を図り、その実践活動に対し必要な支援を行う。等

市町村

・ みやま市	・ 直方市	・ 北九州市	・ 太宰府市	・ 宇美町
・ 宮若市	・ 大野城市	・ 筑後市	・ 大川市	・ 大牟田市

啓発イベントの最後には、関好孝大牟田市長が大牟田中央小学校の児童と一緒に「ワンヘルス推進宣言」を表明されました。



大牟田市ワンヘルス推進宣言

新型コロナウイルス感染症をはじめ、狂犬病や鳥インフルエンザなどの人獣共通感染症は、森林伐採などに伴う生態系の変化や気候変動等により、動物の感染症に対する抵抗力を保有しない人にも感染するようになったとされています。

この人獣共通感染症を予防するためには、人と動物の健康及び環境の健全性を一つと考え守っていく「ワンヘルス」の理念が世界中で広がっています。

本市においては、これまでもワンヘルスにつながる様々な取組みを進めてまいりました。

大牟田市動物園は、動物が肉体的・精神的に健康で環境と調和している「動物福祉」を伝える動物園として注目され、令和3年10月に開園80周年を迎えました。

また、本市のすべての公立小・中・特別支援学校は、平成24年1月にユネスコスクールの認定を受けて10年が経過し、学校や地域の実態に合わせた特色ある「ESD(持続可能な開発のための教育)」を行っています。特に、校区内に動物園がある小学校においては、「見つけよう、広げようわたしたちのまちの宝」として動物園の取組みを理解し、深める学習をすすめています。

福岡県では「福岡県ワンヘルス推進基本条例」において、人と動物の健康及び環境の健全性を一体的に守るための6つの課題への取組みの基本方針が示され、ワンヘルス推進のための施策や取組みを体系的に整理した「ワンヘルス推進行動計画」が策定されました。

本市は、ワンヘルスの理念のもと、福岡県の取組みに連携・協力し、人と動物の健康及び環境の健全性を守り、次世代に継承していくため、ワンヘルスを推進することをここに宣言します。

令和5年1月29日

大牟田市長 関 好孝

ワンヘルスとは「人の健康」「動物の健康」「環境の健全性」を一つととらえ、一体的に守っていく考え方です。

新型コロナウイルス感染症が人と動物の共通感染症であることからわかるように、**人の健康を守るためには、動物の健康も守っていくことが必要です。**

2023年1月30日

福岡ワンヘルス協議会・事務局